



ニュースレター No. 121

在日メキシコ大使館

2014年10月-11月



@EMBMEJAPON



EMBAJADA DE MÉXICO EN JAPÓN

在日メキシコ大使館

〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-15-1

<http://embamex.sre.gob.mx/japon>

ニュースレター No.121 (2014年10月-11月)

1. セルバンティーノ国際芸術祭 2015、日本が来賓国として参加
2. ミード外相、第二回墨日学長サミットを開会
3. コバルビアス金星観測隊記念碑に献花
4. 墨日友好議員グループ代表団が来日
5. アグアスカリエンテス州投資セミナー
6. INVEST Mexico セミナー
7. サウザブルー・テキーラセミナー
8. ハリスコ州投資セミナー
9. メキシコ経済省・みずほ銀行共催「メキシコ・セミナー」
10. Alianza del Pacífico(太平洋同盟)セミナー
11. 在京大使館陸空軍武官室の再開設
12. フォーラム「日本における中等高等教育：目標とチャンス」
13. 展覧会「メキシコと日本、火の領域」
14. 女性や少女に対する暴力の撲滅をめざす国際キャンペーン

セルバンティーノ国際芸術祭 2015、日本が来賓国として参加



10月8日から26日までのおよそ二十日間、グアナファト州を会場として催された第42回セルバンティーノ国際芸術祭（中南米最大の芸術イベント）に、日本が来賓国として招かれ、大規模な参加を実現した。伝統的な人形劇、和太鼓演奏、現代演劇、舞踊等の分野を代表して、ライゾマティクス x イレブンプレイ、コンテンポラリーダンス Pulse、バッハ・コレギウム・ジャパン、東京打撃団、バイオリニスト五嶋龍(ごとう りゅう)、笠井叡(かさい あきら)などのアーティストが出演し、大好評を博した。

同芸術祭開会式典には秋篠宮両殿下が臨席され、特別ゲスト国「日本」を象徴する文字として、メキシコ在住書家 Hiyama Masahiko 氏の作品「和」が紹介された。

ミード外相、第二回墨日学長サミットを開会



ホセ・アントニオ・ミード外相は、10月27日、グアナファト大学とアグアスカリエンテス自治大学の二会場で開催の運びとなった第二回墨日学長サミットのオープニングに出席し、開会の辞を述べた。同サミットの第一回会合は2011年6月に東京で催され、メキシコの学術・研究機関16団体と日本の教育機関29団体が参加した。今回は計35名の学長が両国を代表して出席し、その他67の両国高等教育機関代表者も参加した。

サミットでは、両国最高学府間の科学技術分野協力、産学間協力、イノベーション制度の構築、グローバル人材育成、地球規模の課題への取り組みで大学が担う役割と異文化理解の促進が議題となった。さらに、「CONACYT（メキシコ国家科学技術審議会）」と「東京大学」の間で、大学院レベルの留学プログラムに関する覚書が署名された。

コバルビアス金星観測隊の記念碑に献花



フランシスコ・ディアス・コバルビアスが率いたメキシコ天文観測隊の訪日 140 周年に因み、当大使館の代表団が、1874 年に横浜を訪れたメキシコ天文観測隊の設置した二つの観測所跡地を訪問した。メキシコ地理学・統計学協会を代表して来日したアルトゥーロ・モンテーロ博士は、神奈川県庁代表者を伴い、献花式典に臨んだ。

さらに、今回の代表団は、コバルビアス観測隊の第二観測地点であった現横浜フェリス女学院構内をメキシコ関係者として初めて訪問し、メキシコ市のフランシスコ・ディアス・コバルビアス小学校から女学院へのビデオレターを手渡した。

墨日友好議員グループ代表団が来日

二国関係の重要な柱である議会議員間交流の一環として、11月24日から1週間の実務訪問で来日したベアトリス・ヤマモト下院議員（連邦議会下院墨日友好議員グループ会長）、イエセニア・ノラスコ・ラミレス下院議員、レネ・リカルド・フジワラ・モンテネグロ下院議員の歓迎会が、同月27日、大使公邸レセプション・ホールで催された。

同代表団は、中曽根弘文参議院議員（日本メキシコ友好議員連盟会長）との会合では、友好関係と相互理解を深化させる趣旨の様々な提案を討議した。週の前半に訪問した広島では、湯崎英彦県知事や県議会議長などとの懇談を実施した。



アグアスカリエンテス州政府使節団の来日



アグアスカリエンテス州政府カルロス・ロサーノ・デラトーレ知事を団長とする使節団は、今回の実務訪問で、東京、横浜、名古屋、京都を巡り、友好とビジネスの関係強化に努めた。経済産業省石黒憲彦審議官、外務省中山泰秀副大臣への表敬をはじめ、各地で多数の企業幹部と会合をおこなった。また、神奈川県では、両州県間の経済協力促進をめざす覚書の署名が実現した。

投資誘致セミナーは横浜市と東京都内で開催され、10月24日の会場であった在日メキシコ大使館には、50社以上の代表者が出席して活況を呈した。

INVEST Mexico セミナー

当大使館多目的ホール「エスパシオ・メヒカーノ」を会場として、大使館後援、プロメヒコ主催で「INVEST Mexico セミナー」が開催され、CIESA(シエサ)、White & Case(ホワイト・アンド・ケース)、Marabis(マラビス)の三社が講師を派遣した。

一連のプレゼンテーションでは、既に 800 を上回る日本企業がメキシコに進出している点が強調され、メキシコ投資の利点が解説された。絶好の地理的ロケーション、専門性の高い若い労働人口、連邦政府や州政府が提供する投資家たちに魅力的なインセンティブ、経済連携協定が締結されている日本（墨日 EPA、2005 年 4 月発効）を含む世界の主要経済圏と整備された FTA や EPA で構成された広大な経済連携網が存在する。

また、現在、自動車関連部門の進出が墨日関係の大半を占めているが、ペニャ・ニエト政権が着手している諸改革により、二国間関係が強化されることはもとより、今後数年間には、日本企業が強い関心を示すエネルギーや情報通信等の他分野にその効果が及ぶと期待されている。



「サウザブルー・テキーラ」セミナー



10月28日、在日メキシコ大使館、メキシコ経済省駐日代表部とサントリー酒類株式会社共催の「テキーラ・サウザブルー セミナー」が当館「エスパシオ・メヒカーノ」で実施された。その開催趣旨は、日本におけるテキーラの普及と日本市場向けのみ製造されたテキーラブルーという新商品の紹介であり、テキーラの起源や栽培地域、生産過程や真贋判別法、カテゴリーなどが説明された。

セミナー終了後に催された試飲会にも参加した人々は、新製品に加えて、多種多様のテキーラサウザを賞味して、微妙な味わいの相違を堪能した。メキシコの国民飲料と呼ばれるテキーラの日本全国で普及する声が高まっており、その実現に必要なあらゆる支援の提供を大使館代表が約した。

ハリスコ州投資セミナー

11月7日、実務訪問で来日中のハリスコ州アリストテレス・サンドバル・ディーアス知事を大使館に迎え、多目的ホール「エスパシオ・メヒカーノ」で、大使館後援プロメヒコ主催の投資誘致セミナーが実施され、およそ25社の日本企業が参加した。

開会の辞で強調された部分を要約すれば次の二点になる。A)今回のサンドバル知事来日は、二カ月前に訪日した同州ビジネスミッションの成果を踏まえて、実現した。B)ハリスコ州政府は、対日関係、とりわけ、日本から同州への投資を重視しており、その投資増加に多大な関心を有している。

連邦政府と国内各州政府は、日本でのプロモーション活動を近年強めており、過去一年間に国内32州の1/3強に相当する11州の政府代表団が訪日するまでになっているが、サンドバル知事らの訪日もこれらの活動のひとつとして位置づけられる。



メキシコ経済省・みずほ銀行共催の「メキシコ・セミナー」

11月13日、在日メキシコ大使館代表者は、メキシコ経済省駐日代表部とみずほ銀行の共催によるメキシコセミナーに参加した。同セミナーでは、経済省駐日代表やメキシコに進出している日本企業5社代表によるプレゼンテーションが行われた。

開会の挨拶をおこなったアルマンド・アリアガ臨時代理大使は、政治経済文化の関係に加えて、教育科学技術の交流を含む良好な二国間関係を強調した上で、貿易や投資、成長を続けるメキシコの自動車産業やビジネス環境の整備にも言及した。



太平洋同盟セミナー

メキシコは2014年6月から Alianza del Pacífico(アリアンサ・デル・パシフィコ：太平洋同盟)の輪番制議長国を務めている。その状況の中で、11月26日、同同盟の統合における成果と今後の展望を日系企業に紹介する趣旨の下、在日メキシコ大使館エスパシオ・メヒカーノでセミナーを開催した。

同イベントには、約50社の日系企業代表者に加えて、コロンビア、チリ、ペルーの駐日大使も出席した。セミナー後にレセプションが催され、太平洋同盟の加盟4カ国の料理や飲み物が食卓に並んだ。



在京大使館に陸空軍武官室が再開設

当大使館は、10月8日に東京へ到着していたダビッド・マスカレーニャス・グティエレス武官（空軍少将）、ルイス・アンドレス・グティエーレス・ガルニカ武官補（陸軍大佐）への歓迎レセプションを催した。

陸空軍武官室の開設は、二国間関係を強化するとともに、増大を続ける協力関係の素晴らしい象徴となろう。メキシコと日本の中に常在する対話は拡大し、両国を結ぶ絆はさらに深化を遂げると期待されている。



「日本における中等高等教育：目標とチャンス」フォーラム



2014年10月5日、公津の杜コミュニティセンター「もりんぴあ」のもりもりホールで、「日本の中等教育、目標とチャンス」フォーラムが開催された。同フォーラムは、在日メキシコ大使館領事部、在日メキシコ人協会、LA RED DE TALENTOS、日本教育ネットワーク、成田市国際交流会、成田市教育委員会及び他のラテン団体の支援を得て、成田ヒスパニックサークルのイニシアティブで開催された。

同イベントの開催趣旨は、日本の様々な教育レベルの学校で勉強し、日本における大学進学を目指すスペイン語話者の学生の特徴とそのニーズの概容を把握することであり、駐日メキシコ領事と駐日ペルー領事が出席した。

展覧会「メキシコと日本、火の大地」



10月22日、大使館「エスパシオ・メヒカーノ」で、メキシコ人画家ホルヘ・オブレゴンの展覧会「メキシコと日本、火の領域」が開催された。ホルヘ・オブレゴンは世界のあらゆる火山を探検し、理想的なヴィジョンを追求するのみならず、美・光・宇宙の様々な経験を作品の中で表現している。

風景画家である彼のキャリアは、ルイス・ニシザワ画伯の指導を受けた火山の描写から始まった。今回は、野営の現場で描き上げた富士山やメキシコの火山を主題とする29作品が展示された。

女性や少女に対する暴力の撲滅をめざす国際キャンペーン

男女平等と女性に対する差別と暴力の根絶を目指す活動に対して SRE(メキシコ政府対外関係省)が表明した支援を繁栄する形で、在京メキシコ大使館の職員一同は、11月25日、ONUMUJERES(国連ウィメン)の企画を反映した「女性や少女への暴力根絶に向け、メキシコをオレンジ色に染めて団結しよう」キャンペーンに参加した。同キャンペーンの趣旨は、成人女性や少女幼女に対する暴力を禁ずる社会意識を高め、暴力の無い暮らしの実現を促進することである。

